

事業所名		東京YWCAキッズガーデン				支援プログラム（児童発達支援）		作成日	2025 年	3 月	1 日	
法人（事業所）理念		キリスト教の基盤にたち、平和な社会を実現し、人権や環境を守り、福祉を増進するための種々の公益事業と収益事業を行います。一人ひとりの子どもがかけがえのない存在であると確信し、持っている力を信じて子どもたち自身の声に心を向けながら、これからの育ちに寄り添った療育を目指します。										
支援方針		家族とともに；毎日と一緒に過ごす家族とともに、子どもの育ちを支援します。まずは今の子どもの状況、力をありのままに受けとめ、理解していく過程とともに過ごします。また、専門の立場から、子どもの現在と将来に必要なと考えられる支援をご家族のご理解とご協力のもとに行います。 子どもとともに：子ども自身が持っている力を信じ、子ども自身の声に心を向けながら、これからの育ちに寄り添った療育を行います。日々の積み重ねを通して、体を思った通りに動かせるようになるための運動、生活していくために必要な技術・生活習慣の習得、社会のルールを学び、生活していく上で必要な力を獲得できるよう支援します。 地域の中で：地域の社会資源を活用し、支援者や仲間づくりを積極的に進めます。幼稚園や保育園、併用先事業所、相談支援等の関係機関との連携、東京YWC A板橋センターの活動や会員との交流を大切にします。										
営業時間		9 時		0 分から		17 時		0 分まで		送迎実施の有無		あり
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	登園・降園の準備や衣服の着脱、食事スキル、ハミガキ、手洗い、排泄の自立など、基本的な身辺自立スキルの習得を目指します。										
	運動・感覚	体を大きくバランスよく動かしたり、緩急のある動きの制御などの粗大運動スキルの獲得に取り組みます。 食具を使う、着衣時のボタンつけ外し、運筆など手や指先を使った、触る、つまむ、ひねる、押す、引く、撫でるなどの制御された微細スキルの獲得に取り組みます。										
	認知・行動	学習の基礎スキルにつながる知識と理解、数、形、大きさ、時間などの概念、記憶、思考力を養います。絵本や絵カードなどで自分の気持ちや他者の気持ちの理解を促します。 登園から降園までの園での生活におけるさまざまな習慣を学びます。										
	言語 コミュニケーション	職員や友だちとの日常生活での関わりを通じて、ことばの理解（受容）を養い、口形模倣、音声模倣、ジェスチャーや絵カードなどによるさまざまな形でのことばの表出を支援します。絵カード等を使った練習で語彙を増やします。										
	人間関係 社会性	職員や友だちを通じて、日常生活のルール、遊びのルール、集団生活のルールを学びます。ゲームやクラスでの先生とのやり取りを通じて、セルフコントロールを育てます。順番を待ったり、物を貸し借りしたり、友達を誘ったりお願いして一緒に遊ぶなどの機会を重ねます。挨拶や、相手に意図がわかるような話し方などの支援をします。										
家族支援		年度初めの顔合わせ会、次年度に向けた見学会やオリエンテーション、保護者向けにペアレントトレーニングギッズテラスや発達支援相談室を開設しています。 保護者によって立ち上げられた「親の会」とともに家族を支援しています。 東京YWC A板橋センターではきょうだい児と保護者が参加できるプログラムを運営しています。					移行支援		着席時間を増やすなど活動参加の基本的な姿勢を形成し、幼稚園や保育園での集団生活に必要な自発行動を増やします。 就学に向けた準備に取り組み、スムーズな移行を目指します。			
地域支援・地域連携		各関係機関との連携をはかり、支援に関する取り組みを共有し、支援会議への参加を通して、お子様とご家族が安心して生活できる環境づくりに努めます。 保育園幼稚園の先生方と応用行動分析(ABA)を共に学び支援に活かすためのインクルーシブ保育研修を行っています。					職員の質の向上		日常的に、改善に向けた療育内容の振り返りを行っています。施設内研修での座学講義、ディスカッション、ロールプレイ、事例検討などをスーパーバイザー同席のもと行っています。実習指導や施設外研修の派遣を行っています。			
主な行事等		お母さん参加プログラム・お父さん参加プログラム・買い物プログラム・調理プログラム・避難訓練（不審者・水害・地震・火災）・クリスマス会等を実施しています。										